

ファイルナンバー
jp-2020-9-summary

文献情報

Takashi Naruse *, Anthony G. Tuckett, Hiroshige Matsumoto, Noriko Yamamoto-Mitani. Measurement Development for Japanese Clients' Experiences During Adult Day Care Service Use (The J-AdaCa Tool). *Healthcare*(2020) , 8(4), 363.

2020年9月採択, 2020年9月掲載, DOI:10.3390/healthcare8040363

閲覧方法

この論文は次のURLから全文を閲覧・無料でPDFをダウンロードできます。

<https://www.mdpi.com/2227-9032/8/4/363/htm>

注意

この資料では、原著者である成瀬昂が知識を広く一般に普及する目的で、なるべく平易な言葉に書き下して解説しました。引用につきましては、法令や各種規制を各自で参照のうえ、ご活用ください。※ただし、許可のない転載は禁止です。

見出し

- 日本のデイサービス利用体験に関する尺度開発

小見出し

- (検討中です。少々お待ちください。)

解説文

- 通所介護を利用した人が、その中でどんなことをどの程度体験しているか、評価するための指標を作成しました(The J-AdaCa Tool)。指標は、利用者1人1人について、17種類の体験の頻度を尋ねるものです。調査は都内の11箇所の通所介護事業所で行い、360名の利用者のデータを集めました。主成分分析を行った結果、通所介護のサービス体験は「社会参加」「健康管理」「運動と食事」「家族支援」の4つの側面から構成されていることがわかりました。さらに、4種類の体験の豊かさを示すスコアを作ることができました。
- (加筆・修正中です)